With

Tokyo Rosai

－東京労災病院の理念－
命の輝きを共有できる病院

東京労災病院病診連携誌“ウィズ”　November 2023

撮影者：院長　杉山　政則

CONTENTS

【東京労災病院診療科のご案内】

▶**呼吸器内科**：呼吸器科疾患全般に対応

▶**形成外科**：当科の特色

▶**眼科**：患者さんに寄り添った最善の医療を提供

▶呼吸器内科　（部長：河野　正和）

当科は６名で構成され、呼吸器疾患全般に対応するべく努めております。当科としては気管支鏡・胸腔鏡検査を、放射線科の御協力のもとでCTガイド生検・気管支動脈造影・塞栓術、呼吸器外科と連携し外科適応の検討等を行っています。呼吸器内科の現在と当科の状況について、主な疾患に分けてご紹介させていただきます。

【肺癌】

かねてより肺癌およびその他胸腔内悪性疾患の診断・治療を完遂すべく診療体制を整備してきました。おかげさまで連携医の皆様から多くの患者様のご紹介を頂いた結果、本年度より肺がんの東京都がん診療連携協力病院としての指定を得る運びとなりました。昨今では肺癌治療は変化が著しく、少し前まであまり注目されていなかった術前化学療法が一転して主流になる可能性が出てきました。その為手術・化学療法・放射線をどのように組み合わせればよいのか、外科・放射線科・内科で相談しながら決定する場面が多くなりました。そうした耳目を集める一面もあれば、全身状態や合併症から根治的治療に進めないことも少なくなく、現実には既に一般化したDPC導入によって入院治療のハードルが高くなっている一面もあります。当院ではそのような状況でも最善の選択肢を考えていくべく、内科・外科・放射線科で綿密に協力し診断と治療を進めてまいります。また腫瘍による難治性疼痛についても、放射線治療やメサドン等での対応をしておりますので、ご紹介いただければ幸いです。

【喘息】

気管支喘息の治療も生物学的製剤が加わったことで、四半世紀前の吸入ステロイドの導入以来の変化の只中にあるといえます。新規薬剤の知見集積はこれからですが、目を見張る効果がある症例があるのも事実です。導入後も従来のステロイドも含めた治療の見直しなど、新たに配慮が必要になっています。慎重さも忘れずに、今後も診療に取り組みたいと考えています。

【睡眠時無呼吸症候群】

当院ではポリソムノグラフィー（入院、外来）、簡易検査いずれも実施しております。「症候群」が病名についているように現実には様々な病態が含まれますが、当科には呼吸器内科としては少ない睡眠学会認定医もおりますのでご紹介頂ければ幸いです。

【じん肺、中皮腫等（石綿関連肺疾患）】

当院は労災制度による石綿検診（東京都、その他）だけでなく、前任の戸島元部長が尽力された環境曝露に関わる大田区石綿検診も行っており、相当数の診療経験があります。肺の腫瘤影と胸膜の病変がある場合、石綿が関連していることも考えられますのでご紹介頂ければ幸いです。

より良い診療のために努める所存ですので、今後ともよろしくお願いいたします。

【呼吸器内科部長の紹介】

河野　正和（こうの・まさかず）

- 平成９年　千葉大学卒
- 平成19年　千葉大学大学院卒　医学博士
- 指導医：日本呼吸器学会　日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医
- 認定医：日本内科学会　日本がん治療認定医機構がん治療認定医 ISTM　CTH®
- 専門医：日本内科学会（総合内科）　日本呼吸器学会　日本呼吸器内視鏡学会

▶形成外科　（担当医：藤橋　政尭）

形成外科は体表面と体表に近い体の異常を治療する外科の一分野です。対象疾患は、腫瘍（皮膚・皮下組織の良性・悪性腫瘍、母斑、血管腫など）、外傷（顔面骨骨折、熱傷、瘢痕拘縮などを含む）、先天異常、美容外科、さらには外傷後や腫瘍切除後の組織欠損などに対する再建も形成外科の重要な分野です。

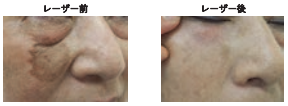
当院形成外科ではそれらの全てに対応しております。当科はその中でも特に、皮膚・皮下腫瘍の日帰り手術や組織欠損の局所皮弁での再建、顔面骨骨折の整復手術、血管腫のレーザー治療を多く行っております。最近では眼瞼下垂の日帰り手術の件数が大幅に増えており、機能面と整容面の両方で患者様からご満足の声をいただいております。眼瞼下垂の他にもフェイスリフト手術などのアンチエイジング、シミ・ホクロの除去など美容外科・美容皮膚科のご相談も増えています。

また当科は昭和大学医学部形成外科の教育関連施設（日本形成外科学会認定）です。特に口唇・口蓋裂は、形成外科をはじめ小児科、耳鼻咽喉科、麻酔科、言語聴覚士、小児歯科、矯正歯科、補綴科などが連携して治療を行う必要がある疾患であり、それをセンター化した昭和大学口唇・口蓋裂センターと連携を行っております。

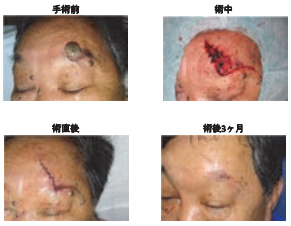
形成外科・美容外科外来は毎週火曜日、水曜日、金曜日の午前に一般外来と各種の専門外来を行っております。当科は開設以来、患者さんが治療に満足され生活の質が高まるように努めて参りました。体表面の気になられることなら何でも、どんな小さなものでも、傷や形、色の変化などを綺麗にすることを目指しています。

ホクロ（母斑細胞性母斑）切除術

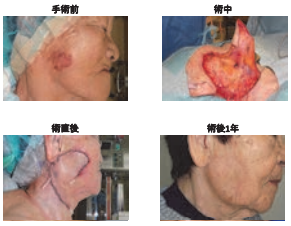
シミ（自費治療）



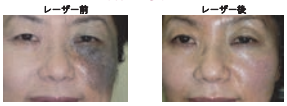
ホクロ（真皮内母斑）局所皮弁術



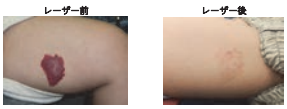
皮膚悪性腫瘍（有棘細胞癌）局所皮弁術



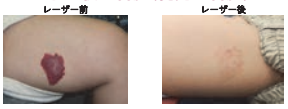
太田母斑



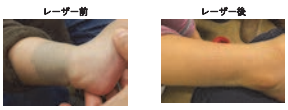
いちご状血管腫（乳児血管腫）



いちご状血管腫（乳児血管腫）

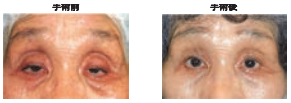


異所性蒙古斑

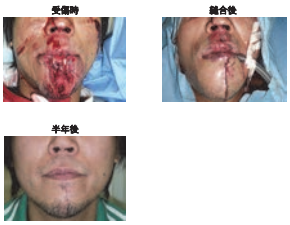


眼瞼下垂症（挙筋前転術）

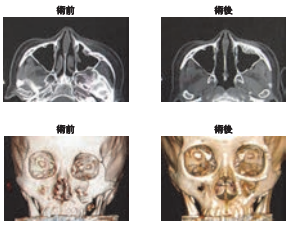
眼瞼下垂症（前頭筋吊り上げ術）



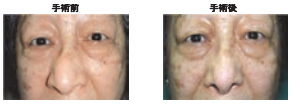
顔面挫創



頬骨骨折（観血的整復固定術）



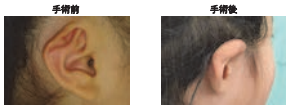
陳旧性鼻骨骨折（斜鼻変形）骨切り術



臍ヘルニア

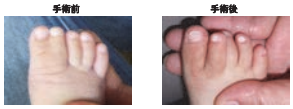
熱傷（分層植皮術）

埋没耳



多指症

合趾症



形成外科で治療を行う疾患は多岐にわたります。この他にも様々な疾患の治療を行っております。お気軽にご相談ください。

【形成外科担当医の紹介】

藤橋　政尭（ふじはし・まさたか）

- 平成27年　昭和大学卒
- 専門医　：日本形成外科学会
- 専門分野：外傷、美容外科

▶眼科　（副部長：徳久　照朗）

【眼科の特徴】

- 患者さんに寄り添った最善の医療を提供します
- 白内障、緑内障、網膜硝子体疾患、神経眼科疾患など幅広い領域で診療しています
- 安全な手術や、術後の患者さんの負担軽減を心掛けています
- 緑内障発作や網膜剥離などの緊急手術が必要な患者さんにも迅速に対応しています

【眼科副部長の紹介】

徳久　照朗（とくひさ・てるあき）

- 平成25年東京慈恵医科大学卒
- 専門医等：日本眼科学会専門医、神経眼科相談医
- 専門分野：網膜硝子体手術、緑内障手術、神経眼科

【診療内容】

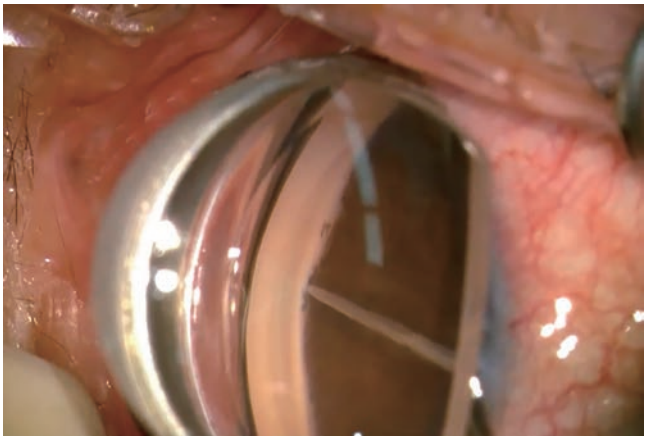
白内障

- 両眼の場合、入院で月・火曜日の連日手術が可能で、患者さんの通院や点眼の負担を軽減しています。日帰り手術も行っています。
- 必要に応じて乱視矯正眼内レンズや保険範囲内での多焦点レンズを使用しています。
- 成熟白内障・急性緑内障発作・水晶体亜脱臼などの難症例白内障手術も行っております。
- チン小帯脆弱例や断裂例には水晶体嚢拡張リングを挿入し、術後の視機能を維持しやすくしています。

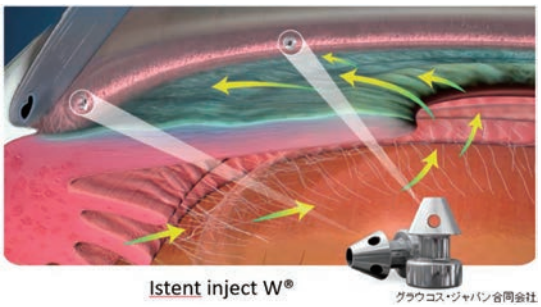
緑内障

- 近年、様々な低侵襲緑内障手術が開発されていますが、当院でも谷戸フックを用いたフックロトミーや、istent inject W挿入を行っています。

谷戸フック

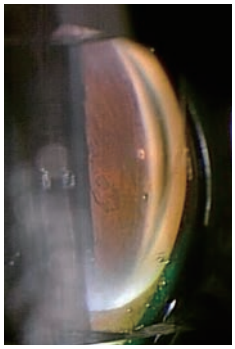


線維柱帯切開術



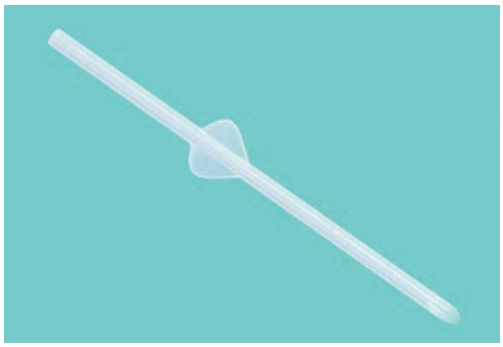
Istent inject W

挿入時

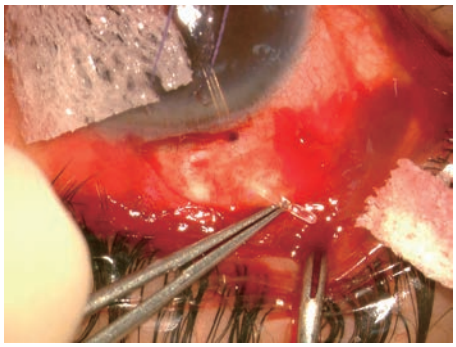


術後

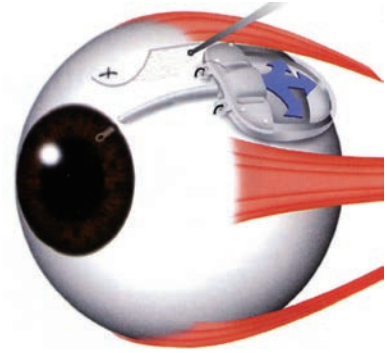
●病状によっては、濾過手術やプリザーフロ、アーメド緑内障バルブなどを用いた手術を選択します。



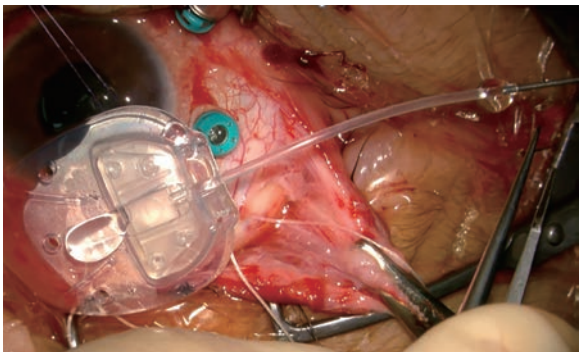
プリザーフロマイクロシャント



術中



アーメド緑内障バルブ

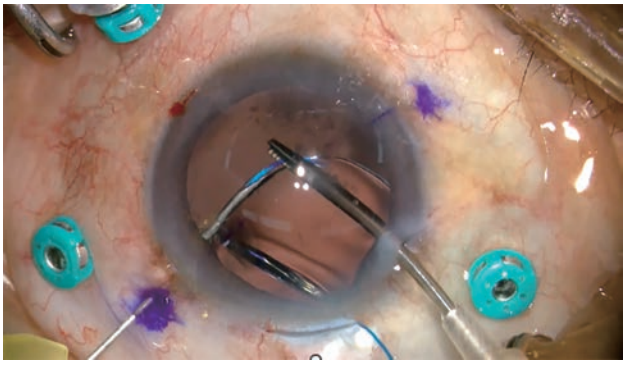


術中

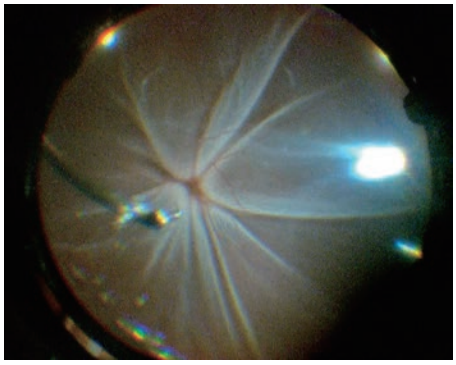
黄斑前膜・黄斑円孔・裂孔原性網膜剝離・増殖糖尿病網膜症・眼内レンズ脱臼など

● 25ゲージもしくは27ゲージの低侵襲硝子体手術を行っています。

●急患も随時対応しており、最短日程で緊急手術を行います。



眼内レンズ強膜内固定術



網膜剝離眼への硝子体手術

加齢黄斑変性・糖尿病黄斑浮腫・網膜静脈閉塞症など

●抗VEGF薬の硝子体注射を主体とし、病状に応じてレーザー治療やステロイド治療を併用しています。

●硝子体注射は感染予防のためクリーンな手術室で行っております。

● ３４Ｇの細い針を使用することで患者さんの痛みや感染の可能性を最小限にしています。

神経眼科疾患

●神経眼科相談医が視神経疾患・眼球運動障害などの診療にあたります。

●眼瞼痙攣などに対するボトックス治療も行っています。

眼表面疾患

●翼状片、眼窩脂肪ヘルニア、結膜弛緩症などへの手術を行っています。

▶放射線治療科

（担当医：西村　恵美）

○ 放射線治療のご紹介をお待ちしております

その「がん」、放射線治療がお役に立てるかもしれません！

【特徴】

がんを正確に狙い撃ちし、体への負担が少ない“切らない”がん治療です。
平日１日１回、通院で働きながらの治療が可能です（※抗がん剤併用を除く）。
根治治療だけでなく**症状緩和**、一部**良性腫瘍**にも役立ちます。

【目的】

放射線療法の目的別名称と目標

- **根治的放射線療法：**
  目的：がんの治癒・明らかな長期生存を目指す
  目標：大量の放射線を、高い位置精度で照射する
- **緩和的放射線療法：**
  目的：がんによる苦痛を低減し、QOLを維持する
  目標：必要最小限の放射線を、可及的早く照射する
- **緊急放射線療法：**
  目的：急速に悪化する重篤な症状や生命に関わる危機を回避する
  目標：24～72時間以内に緩和的放射線療法を行う

公益社団法人　日本放射線腫瘍学会作成資料より

【具体的には・・】

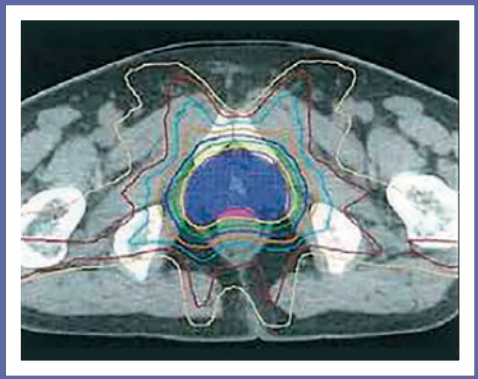
① ほとんどの固形がん
脳腫瘍、頭頸部がん、肺がん、乳がん、食道がん、肝臓がん、膵臓がん、前立腺がん、子宮がん etc…
→ 照射回数25～35回（定位照射では１～８回）

② 緩和治療
がんに伴う痛み、気道狭窄、通過障害、出血、上大静脈症候群、脊椎転移による脊髄障害 etc…
→ ５～15回（定位照射では２回）

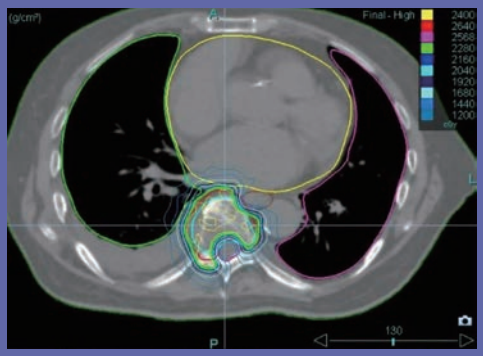
③ 良性腫瘍
ケロイド、甲状腺眼症、動静脈奇形、髄膜腫、聴神経腫瘍 etc…

【治療例】

①前立腺がん



②骨転移



定位照射など高精度治療も行っております

◎診療を希望される際は、事前に**地域医療連携室**にご連絡をお願いいたします。
緊急の場合は**当日でも対応いたします**。お電話でご相談ください。
その他、適応のご相談だけでも構いません。
※当院救急車等によるお迎えや、入院での治療も可能です。

東京労災病院放射線治療科では
定位放射線治療を実施しております

定位放射線治療の特徴

1．「切らない」がん治療

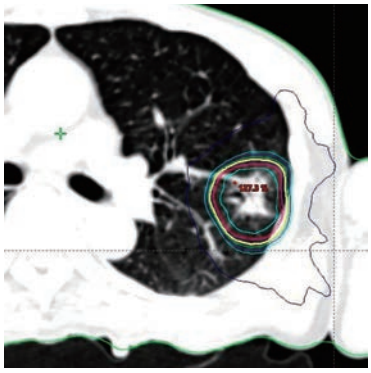
2．通院で、短期間で治療できる

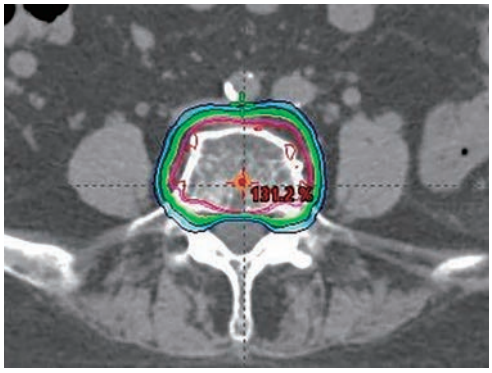
3．病変への高い線量集中性

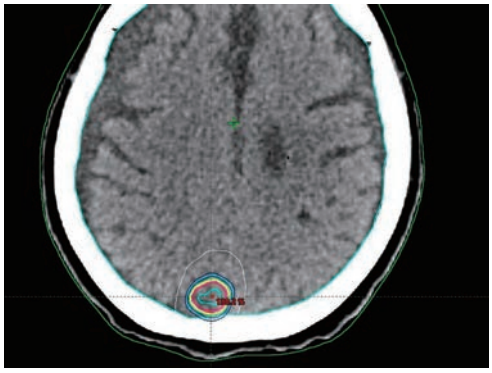
【当院で治療可能な疾患】

- **原発性肺がん**（長径5cm以内かつ転移のないもの）
- **転移性肺がん**（長径5cm以内かつ３個以内、他病巣のないもの）
- **転移性脳腫瘍**（長径3cm程度まで、１～２個、良好な全身状態）
- **原発性肝細胞がん**（長径5cm以内かつ転移のないもの）
- **転移性肝腫瘍**（長径5cm以内かつ３個以内、他病巣のないもの）
- **転移性脊椎腫瘍**（長径5cm以内）

（今後、前立腺がんへの照射を予定しております）







【具体的には…】

- 治療回数：３～５回程度（病変の部位や大きさなどによって異なります）
- 通院可能　※入院をご希望される場合は事前にご相談ください
- 照射範囲のずれを5mm以内にする技術を複数使用

【ご紹介について】

◎事前のご予約をお勧めいたします◎

診察のご予約

「地域医療連携室」にて電話予約を承ります。

電話番号：**03-3742-7129**（直通）

受付時間：月曜日～金曜日　8：15～17：00

＊ご予約は、受診希望日の前日15：00までとなります。

＊「眼科」は診療体制の都合上、**月・水曜日8：15～11：00の間に直接ご来院**いただきますようにお願いいたします。

診察予約が無い場合

受付時間：月曜日～金曜日　8：15～11：00

受付時間内に総合受付①番窓口へお越しください。

救急のご依頼

「地域医療連携室」へご連絡ください。

電話番号：**03-3742-7129**（直通）

夜間・休日は救急受付にて対応いたします。

東京労災病院　病診連携誌「WITH（ウィズ）」November 2023　　発行日：令和5年11月
発行所：〒143-0013 大田区大森南4－13－21　独立行政法人　労働者健康安全機構　東京労災病院【JOHAS】
発行人：杉山　政則　／　編集人：鵜殿　泰三